

ID: @PATIENTID  
 カナ氏名: @PATIENTNAMEKANA  
 氏名: @PATIENTNAME  
 生年月日: @PATIENTBIRTH  
 年齢: @PATIENTAGEYEAR  
 性別: @PATIENTSEXN  
 病棟: @PATIENTWARD  
 診療科: @PATIENTFORMALSECTIONNAME  
 病名: @DISEASE

症状: なし  
 病室: 号室  
 特別な栄養管理の必要性: 無  
 検査内容及び日程: 下記参照

予定帝王切開術を受けられ母児同室される患者様へ

月日(日時)	@SYSDATE	#VALUE!				
経過(病日等)	入院日(手術前日)	手術当日				
達成目標	切迫兆候がない 手術の準備が整っている 手術・麻酔について理解し同意している 母児同室に同意している	<table border="1"> <tr> <th>手術前</th> <th>手術後</th> </tr> <tr> <td></td> <td>                             バイタルサインに異常がない                              褥瘡が発生しない                              子宮復古が良好である                              疼痛コントロールができる                         </td> </tr> </table>	手術前	手術後		バイタルサインに異常がない 褥瘡が発生しない 子宮復古が良好である 疼痛コントロールができる
手術前	手術後					
	バイタルサインに異常がない 褥瘡が発生しない 子宮復古が良好である 疼痛コントロールができる					
治療・薬剤 (点滴・内服)	お腹の張りによって点滴または内服を行います 普段お飲みの薬を確認するので教えてください	点滴を行います 点滴をしています 				
処置	下腹部の毛剃りを行います	尿管を入れます 腰から痛み止めのチューブが入っています 痛い時にご自分で押してください				
検査	お腹のハリと赤ちゃんの心音をモニターを付けて確認します 身長・体重を測ります 血圧等を測ります					
活動	基本的には制限はありません (医師の指示によって制限がある場合があります)	ベッド上にて過ごします 麻酔がきれたら、しっかり自力で横を向いたり、足を動かしてください				
食事	夕食後から食事は出ません 食事・水分の制限は麻酔科担当医の指示に従って下さい 麻酔科からの指示 ※食事 時まで ※水分 時まで 	絶食です 				
清潔	処置の後に医師の許可があれば入浴ができます マニキュアはとりましょう ピアス・指輪などアクセサリーもはずしておいて下さい					
排泄	制限ありません	尿管が入っています。1日目に抜きます				
患者様及びご家族への説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当医が入院治療計画・手術の説明と看護師から入院生活の説明をいたします</li> <li>手術前日に麻酔科医師の診察があります。手術後に使用する痛み止めの器具の説明をします</li> <li>必要物品                             <ul style="list-style-type: none"> <li>手術用腹帯1枚・分娩直後パット1枚(600円)</li> <li>お産セットを購入する場合は、手術用腹帯のみを準備してください。</li> </ul> </li> <li>母児同室DVDを見ます</li> </ul>	ご家族は手術室前室の待合室(1階エレベーター横)でお待ち下さい。先に赤ちゃんが手術室より出てきますので、面会していただきます 				

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については 現時点で予想される期間です。

説明日 @SYSDATE 平成 年 月 日 本人・家族

同意日 主治医氏名 @主治医 印 主治医以外の担当者名

月日(日時)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
経過(病日等)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目(退院)
達成目標 (患者様の 身体所見)	腸蠕動の回復を認める 悪露が正常に排泄され子宮復古が良好である 褥瘡が発生しない 疼痛コントロールができる バイタルサインに異常がない 尿道カテーテル抜去後に自尿がある 発熱がなく、創部に異常が見られない	排ガスが良好で腹満感がない		排便コントロールができる		
母児同室と 育児		母児同室を開始 指導の下、おむつ交換・授乳や搾乳を実施できる	母児同室を継続できる 生活指導を受け、理解できる	一人で授乳や搾乳を実施できる 沐浴指導を受け、実施できる		
治療・薬剤	点滴は手術後1日目まで行います 2日目の朝から毎食後に子宮収縮剤を服用してください(3日間)					
処置	創部の洗浄を行います	お腹に入っている管を抜きます 痛み止めのチューブを抜きます			5日目に創の留め金を取ります 5日目に診察(内診)があります	
検査	血液検査(朝)をします				5日目の朝に血液検査と尿検査(朝)をします	
活動	ベッド上で過ごします 尿の管が抜けた方はトイレ・洗面所などへの歩行が可能です 午後から赤ちゃんに会いにNICUにいきます		制限はありません			
食事	朝から水を飲むことができます 昼から食事(3分粥)が開始になります	朝～全粥、夕～米飯となります 食事が8割以上摂取できないと点滴をします		夕食に祝膳がでます 治療食の場合は食事療法について説明があります		
清潔	体を拭き、着替えを行います 	全ての管が抜けたら午後からシャワーに入れます。	毎日シャワーできます			
排泄	尿の管を抜きます			4日目排便がなければ寝る前に下剤を服用します		
患者様及びご家族への説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導		授乳室にて初回授乳を行います 初回授乳後より母児同室を開始します パースレビューをします	産後の生活についてのお話があります 前日までに生活指導のDVDを見てください	沐浴指導を行います 	ミルクの作り方・アレルギーについてのお話があります 火曜日・金曜日13:30～ 	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については 現時点で予想される期間です。

独立行政法人 国立病院機構 福山医療センター 広島県福山市沖野上町4丁目14番17号 電話 084-922-0001(代)

2A病棟 2012年8月改訂